

市民協働・環境部の方針・目標（平成23年度）

1. 部の方針

「元気な市民とともにつくるコミュニティのまち宗像」と「市民の快適な生活環境と緑豊かな自然環境の保全」を実現するために

- ◆市民が主体的に協働のまちづくりに取り組むための環境整備を推進する。
- ◆市民文化芸術・スポーツ活動を支援する環境づくりや宗像遺産を後世に継承する取り組みを推進する。
- ◆市民一人ひとりの人権意識の高揚、男女共同参画社会の実現を目指す。
- ◆地球環境を視野に入れた環境課題への市民理解を進め、身近なところからの環境保全を推進するとともに、市民、団体等との連携を強化し、行政、市民が一体となった良好な生活環境づくりを協働で推進する。

2. 部の重点目標

23年度に取り組む重点目標	左記の具体的な内容
協働のまちづくりのさらなる推進	コミュニティ施策の検証結果を踏まえコミュニティ活動の充実を図るとともに、田島・神湊地区及び河東地区コミュニティ・センター整備に着手する。より多くの市民がまちづくりに関われるよう、まちづくりの担い手を育成するとともに、中間支援組織と連携し、コミュニティ運営協議会や市民活動団体等とのさらなる協働を推進する。人権意識の高揚に向けて、人権啓発のさらなる推進を図るとともに、男女共同参画社会に向けて、第2次男女共同参画プランにそった施策及び事業の進行管理を行う。
文化芸術・スポーツの振興と歴史文化継承の推進	市民の文化芸術活動を支援するため基金を運用するとともに、拠点施設である宗像ユリックスのセンター機能を高める。民間スポーツ資産の活用促進や海洋性スポーツ普及の調査研究を福津市と連携して推進する。郷土文化学習交流施設を整備するとともに、体験学習等ソフト事業を展開する市民協働組織の仕組みづくりを進める。また、世界遺産登録に向けて、学術的価値の検証作業とともに、田熊石畑遺跡整備の基本設計や桜京古墳整備の基本計画を策定する。
環境面における協働・共生のまちづくりの推進	環境基本計画に基づき、自然環境・生活環境の保全（河川・海岸・水源涵養）などの事業を県・関係課・団体等と連携して進める。また、各環境関連事業について、市民・環境団体・コミュニティ運営協議会・企業等と連携し、協働・共生のまちづくりを推進する。

3. 部の経営資源

職員数	部長1人 コミュニティ課8人 市民活動推進課5人 郷土文化学習交流室6人 市民活動交流室5人 人権対策課5人 男女共同参画推進課6人 自然環境課11人 生活環境課11人 市民協働・環境部職員計58人（うち常勤・非常勤嘱託職員・再任用職員9人） 職員比率（正規職員） 11.7%（市民協働・環境部49人／市職員420人）
予算規模 （平成23年度）	・一般会計 4,533,520千円 ・住宅新築資金等貸付事業特別会計 18,885千円

4. 各施策の推進方針

施策名	コミュニティ活動・市民活動の推進							
将来像	市民が主体的にまちづくりに取り組んでいます							
推進方針	地域分権を推進し、地域住民が主体となったまちづくりを行うため、コミュニティ運営協議会の運営を支援し、組織を強化する。 コミュニティ活動の拠点として、田島・神湊地区及び河東地区のコミュニティ・センター整備に着手する。 中間支援組織と連携し、コミュニティ運営協議会と市民活動団体とが協力して事業が実施できるよう調整することにより、コミュニティ活動・市民活動の活性化を図る。 人づくりでまちづくり講座やむなかた協働大学等により、まちづくりを担う新たな人材を育成する。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	最近一年間に市民活動やボランティア活動に参加した市民の割合(%)	40.9	42.6	44.3	46.0		コミュニティ活動推進事業費(2-1-14)	141,993千円
	協働が可能な事業の協働実施割合(%)	9.0	9.5	10.0	10.5		コミュニティ・センター整備事業費(2-1-14)	418,816千円
							岬公民館跡地活用事業(2-1-14)	36,000千円
							人づくりでまちづくり事業費(2-1-9)	8,000千円
							市民活動交流館管理運営費(10-5-1)	72,079千円
施策名	市民との情報の共有							
将来像	市民と行政が情報を共有し、市民がまちづくりに参加しています							
推進方針	市民活動交流館のホームページや広報などを活用し、行政や各種団体の情報を集約・発信していくことにより、まちづくりへの市民の参加を促進する。 パブリック・コメントを充実し、計画や条例案の策定過程により多くの市民の意見を反映させることにより、市民参画の推進を図る。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	市から必要な情報が提供されていると思う市民の割合(%)	32.1	33.2	34.4	35.5			
	地域の実情を市が把握していると思う市民の割合(%)	11.7	12.4	13.2	14.0			
	最近一年間に条例に基づく市民参画手続きに参加したことのある市民の割合(%)	7.3	7.9	8.4	9.0			
施策名	人権尊重・男女共同参画の推進							
将来像	お互いを尊重して、みんなが幸せに生活しています							
推進方針	地域からの人権啓発を推進するため、コミュニティ及び教育現場と協働した啓発を実施する。①コミュニティとの連携を図り、コミュニティ講演会の実施 ②各小中学校での人権教室の実施 ③人権教育・啓発推進協議会の活性化及びその活用を進める。 男女共同参画社会実現のため、男女共同参画推進センターを拠点とした啓発講座、チャレンジ事業、相談事業の充実を図る。附属機関への女性登用については、41%の登用率を目指す。平成23年度からスタートする第2次男女共同参画プランの進行管理を行うとともに、ワーク・ライフ・バランス啓発事業の推進、DV被害者支援の充実を図る。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	人権尊重意識を持って生活している市民の割合(%)	94.6	95.2	95.8	96.5		人権教育啓発費(3-1-7)	11,758千円
	男女共同参画の意識を持って生活している市民の割合(%)	45.0	46.1	47.3	48.5		男女共同参画推進センター事業費(2-1-13)	6,053千円
	最近一年間に差別を受けたと感じたことのある市民の割合(%)	9.3	8.5	7.8	7.0			

【市民協働・環境部】

施策名	多様な学習機会の創出							
将来像	学びたいときに学べ、学んだことを活かせるまち							
推進方針	趣味や教養の分野にとどまらず、保健福祉や子育て、環境など、市民ニーズに基づく様々な分野での学習機会を創出する。また、市民が自発的に学んだ成果を広くまちづくりに役立てられるよう、活動の場を確保する。 生涯学習の視点だけではなく、学びをまちづくりに活かし、新しい公共を推進していくための人材を育成するという観点で、生涯学習推進プランの見直しを行う。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	最近一年間に生涯学習活動を行った市民の割合(%)	38.6	39.7	40.9	42.0			
	生涯学習で学んだことを地域のために活かしている市民の割合(%)	36.0	37.1	38.3	39.5			
施策名	生涯スポーツ活動の推進							
将来像	スポーツをする人がいて、みる人がいて、支える人がいます							
推進方針	実業団女子駅伝西日本大会やラグビートップリーグの地元開催を支援するとともに、市民ボランティアの育成やサニックスブルースの市民応援を展開する。また、企業等が持つスポーツ資源を市民スポーツに活用できる仕組みづくりをスポーツ振興協議会で検討、整備していく。 海洋性スポーツの普及については、引き続き福津市と連携してOPヨット大会や体験会の開催など調査研究を行う。また、大島港を発着とするクルーザー級ヨットレース「沖ノ島カップ」(仮称)や釣川左岸でビーチフットボール大会を開催する。 身近な場所で気軽にスポーツ活動を継続できるよう、南郷地区をモデルに総合型地域スポーツクラブの設立を進める。 体育館やナイター等の体育施設の保全改修を計画的に行っていく。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	最近一年間にスポーツ活動を行った市民の割合(%)	72.0	73.7	75.3	77.0		市民体育事業費(10-6-1)	20,531千円
							体育施設改修事業費(10-6-2)	120,000千円
施策名	歴史文化の継承							
将来像	歴史・文化遺産を未来へと引き継ぐまち							
推進方針	郷土文化学習交流施設を整備するとともに、市民協働による各種プログラム実行のための地域学芸員養成講座等を開催する。 田熊石畑遺跡整備の基本設計を策定する。 桜京古墳整備の基本計画を策定する。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	地域の歴史に誇りや愛着を持つ市民の割合(%)	52.5	53.6	54.8	56.0		郷土文化学習交流施設整備事業費(10-5-4)	367,904千円
	重要な歴史遺産が適切に保存されていると感じる市民の割合(%)	37.1	38.3	39.4	40.5		田熊石畑遺跡整備事業費(10-5-4)	15,087千円
							桜京古墳整備事業費(10-5-4)	4,500千円

【市民協働・環境部】

施策名	市民文化の創造							
将来像	子どものころから、文化・芸術に親しみ、活発に文化活動が行われています							
推進方針	伝統文化次世代継承事業や「大きなくすの木の下で美術館」事業を継続するとともに、文化芸術のまちづくり10年ビジョンに基づく「子どもたちの芸術鑑賞」などの重点プロジェクト事業に着手する。また、基金の運用による文化芸術活動団体助成により市民の文化芸術活動の支援や機会の創出を図る。 文化芸術活動の拠点である宗像ユリックスのセンター機能をより強化するため、総合公園管理公社の組織見直しに着手する。 民間レベルでの国際交流の充実・発展のため、人づくりでまちづくり事業補助金を活用するなど、市民活動団体等の活動を側面から支援する。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	最近一年間で、文化活動を行ったことのある市民の割合(%)	37.6	39.0	40.5	42.0		宗像ユリックス管理運営費(2-1-11)	374,692千円
							社会教育事業費(10-5-1)	11,346千円
施策名	ごみの適正処理とリサイクル							
将来像	循環型社会が推進され、適正なごみ処理が行われています							
推進方針	「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に基づき、ごみ減量とリサイクル推進の目標達成に向けて、市民との協働による取り組みを進める。また、環境活動団体やコミュニティ運営協議会等と連携して環境保全に努める。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	市民1日1人当たりごみ排出量(g)	896.9	872.5	849.8	828.6		塵芥処理事業費(4-2-2)	335,488千円
	リサイクル率(%)	34.2	34.8	35.3	35.9		玄界環境組合負担金(4-2-2)	1,733,019千円
施策名	環境衛生の向上							
将来像	公害がなく、快適な生活ができるまち							
推進方針	典型7公害に対し関係機関と連携して対処していくとともに、光化学オキシダントなど新たな対応が求められている課題に対して、状況把握や情報提供に努める。また、野外焼却や、空き宅地の雑草繁茂、犬猫のフン害などに対しても、関係機関や地域の協力を得ながら、指導や啓発を図る。老朽化が進む「浄楽苑宗像斎場」については、改修のための実施設計等を行う。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	騒音や異臭で不快な思いをすることが多い市民の割合(%)	18.8	17.5	16.2	15.0		火葬場施設整備事業費(4-1-4)	17,000千円
	ポイ捨てごみとペットのフンが多いと思う市民の割合(%)	60.1	58.9	57.7	56.5			

【市民協働・環境部】

施策名	汚水の適正処理								
将来像	生活排水を適正に処理し、水環境が保全されています								
推進方針	合併浄化槽の維持管理費に対して補助金を適正に支給する。								
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額	
	汚水衛生処理率(%)	98.2	98.6	98.8	98.9		宗像地区事務組合負担金(衛生費)(4-2-3)	20,000千円	
施策名	水辺の美しいまち								
将来像	美しい水辺が守られています								
推進方針	環境基本計画に基づき、多くの市民が水辺が美しいと感じられるよう、自然・水の大切さについての市民啓発を進めるとともに、釣川、海岸、さつき松原など自然環境の保全を市民や企業との協働により進める。特に、さつき松原はアダプト制度による管理体制を拡充させる。また、ホテルに関する情報をきめ細やかに発信することにより、良好な水環境の保全意識を高める。 さつき松原は松枯れが著しく、松林の景観を損ねていることから、国と連携しヘリコプターによる薬剤の空中散布等による松くい虫防除を行い、市民の生活を守る防風林として、また優れた景観を持つ松林として保全を図る。また、市民参加型の清掃活動や松の植林活動を支援し、さつき松原の環境保全活動を推進する。								
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額	
	河川BOD濃度(mg/L)	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下		釣川と森林保全事業費(8-2-1)	20,813千円	
	河川や海岸にごみがなく、きれいだと感じる市民の割合(%)	15.5	17.1	18.8	20.5				
施策名	環境にやさしいまち								
将来像	緑があふれ、市民が地球環境に優しい生活を心がけています								
推進方針	環境講座やイベントなどを通じて、環境にやさしい生活や活動の市民への拡がりを促進する。特に、地球温暖化対策については、太陽光発電設備補助制度を継続するとともに、市民や事業者などを含む市域での取り組みを推進していくための実行計画を推進する。また、絶滅危惧種で市の花でもあるカノコユリについて、市民協働による保存・繁殖活動を推進する。 水を貯え、土砂災害を防ぎ、二酸化炭素を吸収するなどの公益的機能をもつ森林の荒廃が増えていることから、福岡県森林環境税を活用し荒廃した森林の間伐、広葉樹の植林などにより、森林を再生させ保全を図る。また、放置竹林等による里山の荒廃を抑止するため、所有者はもとより市民活動団体や森林組合等と連携し、竹の伐採や伐採後の広葉樹の植樹などの支援を行う。								
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額	
	緑豊かであると感じている市民の割合(%)	73.3	74.3	75.4	76.5		環境基本計画推進事業費(4-1-4)	21,476千円	
	地球環境に優しい生活を送っている市民の割合(%)	85.0	86.0	87.0	88.0				